

誰でもが、良質ないい家を、求められる社会環境づくりをめざして
一般社団法人 新木造住宅技術研究協議会
入会のご案内



一般社団法人 新木造住宅技術研究協議会(略称:(社)新住協)事務局

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町1丁目3-9 第六広瀬ビル2階

電話 022-796-7501 / FAX 022-796-7502

E-mail npo.shinjukyo@gmail.com

URL <http://www.shinjukyo.gr.jp/>

誰でもが、良質ないい家を、求められる社会環境づくりをめざして

一般社団法人 新木造住宅技術研究協議会 入会のご案内

■ 一般社団法人 新木造住宅技術研究協議会の活動目的と組織 ■

< 活動目的 >

当法人は、良質な住宅の普及のために、住宅供給に携わる研究者や技術者が協働して、各種木造工法住宅の技術研究に取り組み、誰でもが良質で安価な住宅が求められる社会環境を構築する事業を行い、それらの活動が社会的に豊かな住文化の育成、地球環境の保全、住宅技術の振興及び地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

< 事業 >

- 1 木造住宅の高性能化に関する工法、建材、設備機器等の技術研究開発事業及び供給
- 2 高性能住宅に関する普及啓蒙活動事業
- 3 高性能住宅の技術研究開発、普及啓蒙に関する出版、発行事業
- 4 住宅の設計支援、コンサルタント事業
- 5 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

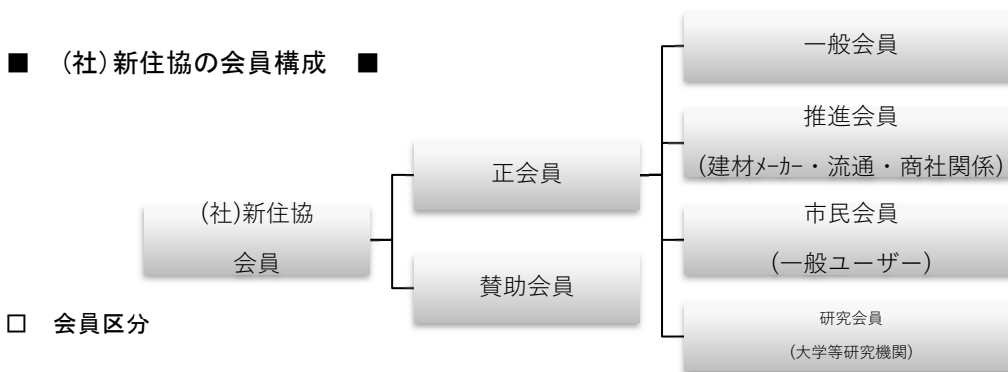
< 代表理事 >

久保田 淳哉

< 事業年度 >

8月1日～7月31日

■ (社)新住協の会員構成 ■



□ 会員区分

- ・会員は、正会員(直接住宅建築に係る会員)と賛助会員で構成されます。
- ・住宅建設に係る設計事務所・工務店・ハウスメーカー・地域流通関係者等は、正会員に登録されます。
- ・広域に、住宅の建材や設備機器等の製造に係るメーカーやその販売・流通に係る会社は、推進会員に登録されます。
- ・市民会員は、新住協の活動に賛同する一般市民が登録されます。
- ・住宅に係る研究を行う大学研究機関に属するものは、研究会員に登録されます。

Q1.0住宅マスター会員

- ・正会員の内、新住協の技術審査に合格した会員は、マスター会員として登録する事が出来ます。
- ・マスター会員は、新住協が性能を保証できる技術を保有する会員としてホームページ等で紹介されます。

■ (社)新住協の年会費 ■

会員種	入会金※	年会費
正会員	10,000円	50,000円
推進会員		
支部狭域推進会員	10,000円	50,000円
北海道広域推進会員	10,000円	70,000円
本州広域推進会員	10,000円	70,000円
Q1.0住宅マスター会員		0円
研究会員		0円
賛助会員	10,000円	1口 50,000円
市民会員		6,000円
名誉会員		

※入会金は、入会時にお送りする新住協の基礎的な技術資料・バックナンバー等の代金です

1. 中途入会はの年会費は、年単位とします。
ただし、正会員に限り、4月～7月の入会については、翌年度年会費免除制度があります。

	8月～3月の入会	4月～7月の入会
入会金	10,000円	10,000円
年会費	50,000円	50,000円
入会時請求額合計	60,000円	60,000円
特記		但し、入会翌年度の年会費は、20,000円とします。

2. 支部会費の特例

- ①本部会費の他に、支部会費がある場合が有ります。
- ②支部会費の上限は、1万円です。
- ③支部単位で臨時会費が必要な場合もあります。

3. 小規模な設計事務所に対する年会費減免制度も有ります。

小規模な設計事務所とは、所員(事務員を含む)が3名以下の請負工事を行わない、純粋な設計事務所です。年会費5万円を、入会時から3万円に減免します。
但し、上記の1. 中途入会年会費特例は、適用外となります。
所員が4名になった場合、減免制度の適用外となります。

4. 正会員及び推進会員の入会金には、最新版QPEXを含みます。

その他、技術資料やバックナンバー等も合わせて入会時にお送りします。

5. 市民会員の入会

ユーザー向けに書かれたバックナンバー書籍数種を、入会時にお送りします。
但し、QPEXについては3万円にて別途有料にて販売いたします。

6. QPEX ver. 3シリーズ以降を既に購入した方の入会…年会費の減免

- ①QPEX3シリーズ以降を購入後、1年以内の入会の場合は、その年度の年会費は免除します。
- ②上記の1. 中途入会年会費特例は、適用外となります。

7. 退会後のQPEX取り扱いについて

弊会退会後は、会員へ無償配布したQPEXの使用権は失効します。

■ 活動内容 ■

新住協では、木造住宅の高性能化に関する工法や建材、設備機器等の技術研究開発を行い、それらの普及啓蒙活動事業として、研修活動や関連図書の出版、発行を行っています。また、会員にはそれらを「技術情報誌」として配布し、会員の技術向上を促進しています。

1. 書籍等



Q1.0住宅
設計・施工マニュアル
2020



燃費半分で暮らす家



ユーザー向けコラム集
百年住宅を目指して



Q1.0住宅
QPEX ver. 4.0
マニュアル

2. 技術情報誌

第11号
「既存住宅の断熱改修」
第12号
「エコハウス パッシブ換気」
第13号
「無落雪屋根のデザイン」
第14号
「ローコスト高齢者対応モデル住宅建設」
第15号
「健康住宅 高橋元氏」
第16号
「技術研修会 上越の冬を快適に」
第17号
「10年度総会 会員発表」
第18号
「健康住宅」
第19号
「伝統的な在来工法による高断熱住宅3題」
第20号
「1999 夏の住宅温度調査」
第21号
「PFPMarkⅢと外構収納システム」
第22号
「PFPMarkⅢプラン集」
第23号
「断熱改修」
第24号
「日射遮蔽による夏の住宅温熱環境改善」
第25号
「新在来木造構法2002」
第26号
「断熱改修-2」
第27号
「民家再建」
第28号
「パッシブソーラー暖房負荷低減」「ポスト次世代省エネ基準の住宅仕様」
第29号
「QPEX」…熱計算プログラム(CD-ROM付)
第30号
「PFPMarkⅢ収納システムマニュアル」
第31号
「PFPMarkⅢサブシステム 収納システム」
第33号
「高断熱住宅でのCO2発生量」
第34号
「プランニング・暮らし方のアイデアコンクール」

第35号
「スウェーデン視察旅行レポート」
第36号
「新在来木造工法 施工後の壁体内検証」
第37号
「基礎断熱住宅のシロアリ対策」
第38号
「QPEXver. 2.0」
第39号
「高性能住宅の基礎・外壁・屋根の断熱工法」
第40号
「熱容量が木造住宅の熱性能に及ぼす影響に関する研究」
第41号
「夏を涼しく・部品データシート」
第42号
「在来木造住宅の断熱・耐震改修」
第43号
「Q1.0住宅BOOK…Q1.0からQ1.0-Xへ」
第44号
「大震災直後の停電下、暖房なしで暮らした人の証言レポート～3.11東日本大震災 被災地の住宅緊急調査」
第45号
「QPEXver. 2.73」
第46号
「QPEXver. 3.21」
第47号
「断熱耐震同時改修住宅 夏冬暮らしのアンケート」
第48号
「QPEX3.4」
第49号
「Q1.0住宅の目標性能と標準仕様」
第50号
「繊維系断熱材充填による新しい高断熱工法」
第51号
「QPEX3.51 詳細マニュアル」
第52号
「令和元年度国土交通省補助事業『省エネ住宅・建築物の整備に向けた体制整備事業』セミナーテキスト」
第53号
「オープンセミナー『Q1.0住宅設計塾 in 神戸(2019/11/21)』セミナーテキスト」
第54号
Q1.0住宅 設計・施工マニュアル 2020
「高断熱住宅を設計する際の重要ポイントと正しい施工法の解説書」
第55号
Q1.0住宅 QPEX Ver. 4.0 マニュアル
「高断熱住宅を設計する際の必須ツール暖冷房エネルギー計算プログラム」
第56号
2000の名言名句台詞
「住まい手と設計施工者から生まれた住宅誌から総合再編集」